現場に始まり現場に終わる 現場力 4

結婚式前の情報収集でこだわりポイント発見

ハセガワエスティ
代表取締役社長
長谷川卓史氏

ごく一般的な結婚式の流れのなかでも感動を創造

今回はスタンダードな結婚式のなかで、お2人のこだわり部分を深め、感動的な結婚式を創造するためのポイントをお話します。

スタンダードな結婚式求めるカップルたち

現在、多くのカップルはごくごく普通の結婚式を求めているようです。かつてのように個性的なオリジナルウエディングや奇想天外なスタイルではなく、従来どおりの流れにそったものです。進行管理表をみれば、みな同じように見えることでしょう。

ところが同じように見えても実はそれぞれポイントが異なります。それは、カップルそれぞれ、結婚式に対する思いやこだわりが異なるからです。そのこだわりを事前の情報収集から掴み、そして音響や照明と合わせて掘り下げた演出を組み立てることが大切です。

こだわりポイントを深く掘り下げた演出構成

たとえば『小さい頃、面倒をみてくれたおじいちゃん、おばあちゃんに感謝したい』というカップルには、祖母が作ってくれたおやつや、祖父母が大好きな和菓子をデザートブッフェにアレンジしたりなど、言葉では表現できない感謝の気持ちを表現できます。

1つのこだわりを深く掘り下げること、それがメリハリのある感動的な結婚式を創造するために必要なことなのです。

司会打合わせ1カ月前に打ち合わせ用シートを

このようにスタンダードな結婚式で感動を創造するためには、何と言っても欠かせないのが情報収集力です。当社では打合わせの1カ月前に、打合わせのために必要なヒヤリングシートをお渡ししています。そこにはお2人が出会ったきっかけなどのプロフィール的な部分と、結婚式へのこだわりや思い、これからの生活についてなど、キーワード探しのために必要な質問に掲げています。

1カ月の猶予とヒヤリングシートをきっかけに改めて結婚や結婚式、そして相互を見直すことができます。これにより、お2人は気がつかないかもしれませんが、結婚式のキーワードが見えてきます。ここが深堀り演出に欠かせないポイントです。

スタンダードなかに心に残る結婚式の生命線は『情報収集』なのです。

プロフィール

（はせがわ たかし）
1963年10月16日、総合家具販売会社の3代目として千葉に生まれる。中央大学商学部卒業後、経営の道を歩み始める。30歳を越え婚礼司会者に転身。2000年起業し、現在国内最大手、年間1万組を超える企業に成長した。